

こんにちは

いっしょが楽しい 最高の仲間

ゆり組14名の子どもたちは、好奇心旺盛で様々なものに目を向け、興味を持ってみようとし、豊かな発想で大作を作ったり、いつも周りの友だちのことや年下児のことを考えるやさしい子どもたちです。「心の友よ〜」という言葉が子どもたちからよく聞こえてくるようになりました。肩を組んで歌う姿は、まさに絆が深まっている子どもたちの仲間意識の表れの様です。

今年度は縦割り生活を送ってきたことで「小さいお友だちからだよね」「先にいいよ」「みんなにも見せよう」「みんなでちょこっとずつ食べよう」などと、自分のことだけでなく、周りの友だちのことを大切にするかわりが多く見られるようになり、一人ひとりの心の成長が見えた一年間でした。春からは小学一年生になるゆり組の子どもたち。西部保育園での経験を大いに活かし、小学校へ羽ばたいてほしいと思います。



うめぼしはおなかを元気にします



「今年は梅干しを作って食べます」園長先生の一言で始まった梅干し作り。6月から作り始め、出来上がった梅干しを10月から食べています。

梅干しを食べる時はお作法があり、「失礼します」と言ってお部屋に入り座ります。みんなでおしゃべりをしないで梅干しを味わい、白湯を飲みほします。最後は「ありがとうございます」と言っておじぎをして席をはなれます。

週のはじめの月曜日、保育園の生活のなかに『静の空間』を環境に取り入れ、園生活にリセットします。毎回同じ流れで行うことで、どうすれば良いのか見通しがもてるようになりました。子どもたちの中にも、梅干しを食べる時のお作法が定着し、お作法の日を楽しみにしています。お作法のままごとあそびが流行中です。



編集後記

平成28年度の保育も残りわずかとなりました。もうすぐ年長組14名が保育園を巣立っていきます。今年は縦割りの生活班で年長児リーダーとして成長してくれました。クラスの友だちとのお別れと、小さいお友だちとのお別れに思いをはせます。今度は、年長組を見ていた年中組が、小さいお友だちのお世話をしてくれることでしょう。

「新しいお友達と楽しく遊ぶ」

園長 長井 智子

当園は、年齢別クラスに子どもたちは所属しながら、異年齢のたわいづらさで生活しています。年長児が駒に紐をまいて巧みに回しているのを年少児が見ています。回してみたくて保育者にやり方を教えてもらいますがうまく回せません。入そをかきはじめました。その様子を見ていた年中児が「泣くとできない」「できなかつたら年長児さんを見てみるよ」といって年中児に声をかけてくれ、年少児は泣くのをやめました。年中児は「一回も回すよ」といって年中児に声をかけてくれます。この年中児は、数日前友だちの年中児ができたようになったのを見て、一回も練習をすまなかったのにできたようになりました。友だちの年中児も年長児の駒回しに憧れて年長児に教えて貰いたい気持ちになったのです。年少児はそれから何回もわくわくしながら練習をしようになり、年中児も一緒に喜んでいました。

たわいづらさ保育では3回学年チャンスがあります。1回目は見て学ぶ、2回目は自分でやって学ぶ、3回目は他人に教える学び。自分の少し先を歩む子どもを育てたいお手本が保育園にはあります。大人は教えるときに説明をしますが、子どもは自分で試して教えます。

学びが楽しくなるようには子どもも楽しむ必要があります。からだを動かして人や自然とかわり存分に遊ぶ、お腹を減らしてみんなとおいしく食事を、いたいたに遊んで眠る、うらやまも楽しむ、いろいろな遊びをします。

保護者の皆さんも職員の方と一緒に楽しんで西部保育園で思いを育みます。情報誌をご覧の方を歓迎します。1回でも飲んでみてください。

育ちあう子どもたち

今年度から、同年齢のクラス保育から異年齢縦割りクラスで生活しています。幼児組3クラスは「きいろさん」「きみどりさん」の2つの生活班に分かれました。1歳児・2歳児もいっしょに生活しています。

異年齢で生活することで、小さい子は大きい子を見てあこがれたりします。大きい子は小さい子に教えてあげたり、気づかたりする姿が見られるようになりました。

いつも傍で見守っていてくれるお友だちがいます。育ちあう子どもたちに触れて、保育者も共に生きる生活者として豊かな園生活を送っています。

まねっこまねっこ



2歳児がブロックで、戦隊ヒーローの刀を熱心に作っています。それを見た1歳児が、真似して長くつなげようとしています。どのブロックを使い、どうつなげると長くなるのか、ちゃ〜んとしています。



発表会で3歳児が踊った忍者の曲を1歳児が喜んで踊っています。遊びに来ていた0歳児も興味津々。忍者になりきり真似してしゃがみ、ジャンプ。一つ上のお友だちは小さな先生です。

ひとりでできるよ



登園すると、リュックからおしほりを出してカゴに入れたり、着替えを引き出しにしまったりします。服もたたんでしまっています。(2歳児)



食事の準備や片付けも一人です。「どれにしようかな」とご飯やおかずを選んでトレイにのせています。「おいしかった」食器もちやんと重ねて片付けます。

いっしょにやろう!



幼児組で凍み大根作りをしていると、遊びに来ていた2歳児の女の子が、その様子をじつと見ていました。すると4歳児の女の子がそれに気づいて「やりたいの?」「教えてあげるから、一緒にやろう」と声をかけ、一緒に凍み大根作りをしました。凍み大根作りで大満足の2歳児さん。縦割りの生活の中で、年下の友だちの気持ちに自然と気づけ一緒に楽しんでいます。



手伝ってあげる!

3歳児の女の子が着替えをしていると、なかなか袖に腕を通せないことに気づいた4歳児の男の子。少しの間、自分でする様子を見ていたのですが、女の子が困った顔をすると「手伝ってあげる」と傍に行き、着替えを手伝ってあげていました。

おままごとで遊んでいると、年長さんの本当にお料理作りをしているかのような手つきにきざぎざの年少さん。小さなお母さんの傍で、お手伝いする年少さん。年長さんを憧れのまなざしで見えます。年長さんは、そんな年少さんがかわいくて仕方ありません。



うん

だいじょうぶ? してあげようか

おうちごっこをしているとき、エプロンをつけようとしていた年少さん。ひもが結べず困っている姿を見た年長さん。「大丈夫?してあげようか?」と聞いて、「うん!」とお願いをした年少さん。お姉ちゃんに結んでもらって、嬉しくてニコニコ笑顔。喜んで自分も嬉しい気持ちになった年長さんです。次は結び方を教えてくれることでしょう。

麦茶こぼしたんだけどなにでふいたらいいの?



どうしたの?

こうやって...



使い終わったら、雑巾の色と同じ色のカゴにいれるの。

拭いてあげるのではなく、一緒にどうすればきれいになるか、どんなものを使うのか、やってみせながら教えていました。



食べれる?

ん〜

こうすると食べられるよ

給食でお餅が出た時、食べるのに苦戦していたたんぼ組さんに、同じ縦割りグループのゆり組さんが、小さく食べやすい大きさにしてくれました。ゆり組さんの仕草をじつと見ている、たんぼ組さんです。